

2 血まみれの息子

「どこに行ってたの 朝こんなに遅くまで
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
どこに行ってたの 朝こんなに遅くまで
わたしの愛しい息子よ」
「水門のところまで 水門のところまでだよ
ああ 母さん」 5

「そこで何してたの
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
そこで何してたの
わたしの愛しい息子よ」 10
「ぼくの馬に池の水を飲ませてたんだ
ああ 母さん」

「おまえの衣服は 今日はどうしてそんなに汚れているの
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
おまえの衣服は 今日はどうしてそんなに汚れているの 15
わたしの愛しい息子よ」
「馬が土手の汚い土でバシャバシャ足踏みしてたんだ
ああ 母さん」

「その袖の赤いのは何
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい 20
その袖の赤いのは何
わたしの愛しい息子よ」
「ぼくは弟を殺してしまった 忌まわしい川の上流で」
ああ 母さん」

「償いに どこに行くつもり 25
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
償いに どこに行くつもり
わたしの愛しい息子よ」
「世界を回って 地の果てまで
ああ 母さん」 30

「父さんには何を残すつもりだい
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
父さんには何を残すつもりだい
わたしの愛しい息子よ」
「木を切って 焚きもの用に運んでおこう 35
もう ぼくに会うことはないのだから
ああ 母さん」

「母さんには何を残すつもりだい
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
母さんには何を残すつもりだい 40
わたしの愛しい息子よ」
「綺麗に梳いた毛織りのセーター

もう ぼくに会うことはないのだから
ああ 母さん」

「おまえの女房には何を残すつもりだい
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
おまえの女房には何を残すつもりだい
わたしの愛しい息子よ」

「高級なガウンを しかも新品の
もう ぼくの身体に合うやつを作ることはないのだから
ああ 母さん」

「可愛いおまえの子には何を残すつもりだい
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
可愛いおまえの子には何を残すつもりだい
わたしの愛しい息子よ」

「身体をムチ打つ学校用の細枝を
今まで散々泣かせてきたが もうムチ打つこともないのだ
ああ 母さん」

「可愛いおまえの娘には何を残すつもりだい
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
可愛いおまえの娘には何を残すつもりだい
わたしの愛しい息子よ」

「野のクワの実を食べさせよう
泣いてももう 手には入らないのだから
ああ 母さん」

「いつ 放浪の旅から戻ってくるの
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
いつ 放浪の旅から戻ってくるの
わたしの愛しい息子よ」
「太陽が北から昇る時に
ああ 母さん」

「北の日の出はいつ
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
北の日の出はいつ
わたしの愛しい息子よ」

「^{いしなご}石子が海を泳ぐ時
ああ 母さん」

「^{いしなご}石子はいつ 海を泳ぐの
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
^{いしなご}石子はいつ 海を泳ぐの
わたしの愛しい息子よ」

「小鳥の羽が海の中で鉛になる時
ああ 母さん」

「羽はいつ 鉛になるの
息子よ こちらに来て 言ってちょうだい
羽はいつ 鉛になるの
わたしの愛しい息子よ」

「神様が生者と死者の区別をなさる時

ああ 母さん」

(山中光義訳)